

はじめに

田辺ジオパーク研究会は、田辺の大地(ジオ)を中心テーマとして、自然・歴史・文化・産業など多くの資源について、皆さんとともに楽しく学び、深く理解しながら、田辺の文化的な発展の一端に役立ちたいという願いから、平成27年2月に発足しました。田辺の持つ多くの資源の中で、私たちは地形。地質と、それにまつわる人々との関係を学習し研究することを目指しています。そして、それらの資源を大切にし、育て、次の世代に引き継いでいくことを願っています。本会は、発足と同時に多くの方々が入会され、そのの方々による田辺市内のジオサイの発掘と、各サイトにまつわる多角的な調査を精力的に進めてきました。

田辺市は5市町村（田辺市・中辺路町・本宮町・大塔村・龍神村）が合併して非常に広域となっています。会員の皆さま方の熱い研究心と旺盛な活動力のおかげで、調査は定期的に行われ、2年半をかけて市内の各所を調査し、記録してきました。そして、その調査結果をもとに、地質学的内容、特徴的な生物、歴史、産物、そして生活などにわたって調べ、ここにその成果を出版することになりました。ご承知のように、南紀熊野ジオパーク推進協議会が活動していますが、田辺市にはその協議会に所属する市町村の大地と同じ価値を持つ大地に私たちが暮らしています。この大地をあらためて調べ学ぶことにより、それらをより深く知り、ともすれば忘れがちな田辺の成り立ちを、そして、ここで暮らしてこられた多くの先人たちの思いをも学びたいと考えています。田辺市としても、南紀熊野ジオパーク推進協議会とともに、こうした資源をさらに掘り起こし、学習し、後世に伝えていく活動を進めることを期待する次第です。この小冊子が、今後の田辺市及び和歌山県の諸活動に参考になることを信じています。田辺市内の現地調査及びそのまとめについては、南紀熊野ジオパーク推進協議会学術専門委員の中屋志津男氏と吉松敏隆氏にご協力いただきました。

田辺ジオパーク研究会顧問 玉井濟夫